



▲共同宣言を読み上げる竹内町長

共同宣言を发表

ホタルの保護活動に努め、「自然と人間の共生」を目指す



▲次回サミット開催地を紀の川市へ引き継ぐ

フォーラムの後には、ほたるサミット参加6市町の首長名で、「共同宣言」を読み上げ、ホタルの保護活動を通して多様な生物の保全を推進することなどを確認しました。

最後に阿久比町長から紀の川市長へ、次回開催地の引き継ぎが行われました。

2016 ほたるサミット in 阿久比 共同宣言



私たちのまちは、豊かな水と緑に恵まれ、「ホタル」とふれあうことのできる環境にあります。幻想的な光を放ちながら飛び交うホタルは、人々の心を和ませ安らぎを与えてくれるだけでなく、自然環境のバロメーターとして重要な役割を果たすまちの宝物です。

これからも、ホタルの飛び交う豊かな自然を守り続けるためには、自然の動植物の生息環境を保全するとともに、自然を思いやる心を次世代に伝えていく必要があります。

ここに、ホタルの里づくりを推進する指導者が一堂に会し、ホタルの保護を通じて自然環境を悠久に守る道を模索するため、「2016 ほたるサミットin阿久比」を開催し、次のことを確認しました。

- 一、ホタルを通じて、幅広い分野で交流を深めるとともに、環境保全施策等について情報交換を行います。
- 一、ホタルにも人にも安全ですみよい環境づくりに努め、自然との共生を目指します。
- 一、水と緑に恵まれた自然環境を活かし、ホタルの保護活動を通して多様な生物の保全を推進します。
- 一、住民と行政が協働し、地域間、世代間の交流を図りながら、ホタルの棲み続ける活力あるまちづくりを推進します。
- 一、自然の大切さを学ぶ環境教育づくりの推進に努め、自然を思いやる心と輝くホタルの光を次世代へつなげていきます。

以上、友愛と協調に基づいて、ここに宣言します。

平成28年6月18日

ほたるサミット参加市町

和歌山県 紀の川市長

中村 慎司

山口県 下関市長

中尾 友昭

岡山県 真庭市長

太田 昇

滋賀県 米原市長

平尾 道雄

福岡県 北九州市長

北橋 健治

愛知県 阿久比町長

竹内 啓二

